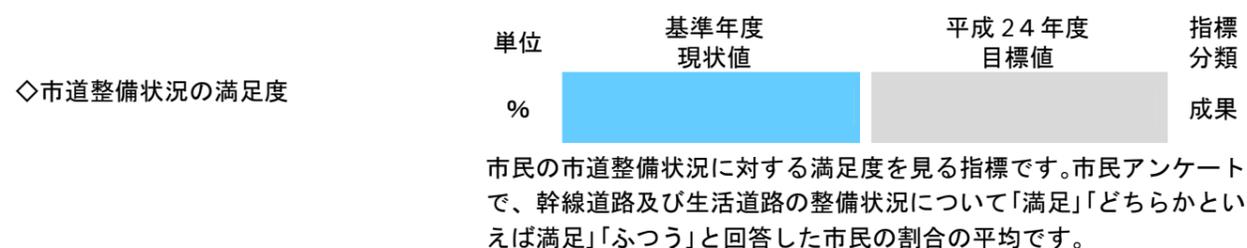


施策 1 - ① 道路網の整備・充実

施策のねらい

道路が整備され、日常生活の安全性・利便性が向上します。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 1-1-① 幹線道路の整備と維持管理	● 広域幹線道路に接続する幹線道路が整備・維持管理され、安全性・利便性が確保されます。	◆ 幹線道路の整備状況に対する満足度 ◆ 幹線道路の改良延長割合
基本事業 1-1-② 生活道路の整備と維持管理	● 生活道路が整備・維持管理され、安全性・利便性が確保されます。	◆ 生活道路の整備状況に対する満足度 ◆ 生活道路整備箇所数

施策をとりまく環境変化

- ✦ 合併により、一体性のある道路網整備が必要
- ✦ 交通渋滞の増加
(国道 126 号、県道（成東酒々井線、成東鳴浜線）など)
- ✦ 求められる交通弱者への対策
(道路のバリアフリー化など)
- ✦ 郊外型商業施設が国道沿いに増加

図表・グラフ等

「幹線道路の整備状況」及び「生活道路の整備状況」の満足度

用語解説

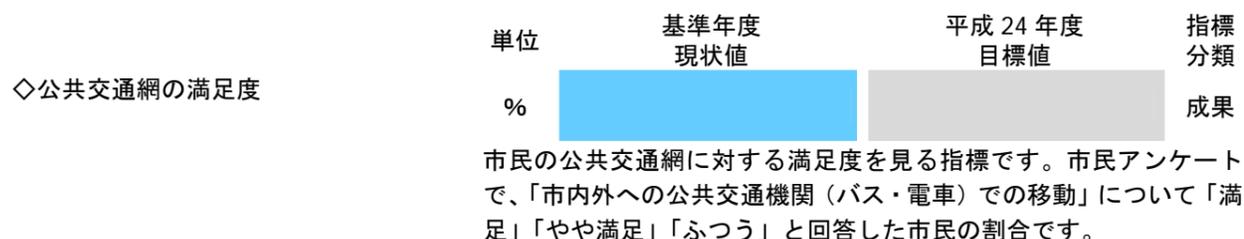
- ◆道路のバリアフリー：人が自由に活動するとき障害になるものを「バリアー」といい、その障害を取り除くことを「バリアフリー」とよびます。道路の「バリアフリー」とは道にある障害をなくし、誰もが安心して歩けるように道路を作ることです。
- ◆広域幹線道路：国道・県道・広域農道です。
- ◆幹線道路：主要な市道（1・2級）です。
- ◆生活道路：広域幹線道路・幹線道路以外の市道です。

施策 1 - ② 公共交通網の整備・充実

施策のねらい

公共交通網が充実し、利便性が高まります。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 1-2-① 鉄道の利便性向上	●鉄道の本数を維持し、通勤、通学、買い物や余暇などの活動が快適に行えます。	◆1日当たりの鉄道利用者数(JR日向・成東・松尾駅の合計)
基本事業 1-2-② 市内における交通手段の確保	●市内の交通手段が確保され、円滑に移動できます。	◆市内移動の交通手段に困っている市民割合 ◆市内バス路線数(系統数) ◆バス運行状況の満足度
基本事業 1-2-③ バスでの主要都市へのアクセス向上	●バスでの主要都市へのアクセス本数が維持され、利用者が増加します。	◆1日当たりの主要都市へのバス利用者数(フラワーライナー(成東～千葉)、シーサイドライナー(成東～東京)、空港シャトルバス(蓮沼～成田)の合計)

施策をとりまく環境変化

- ✦ JR 日向駅、JR 成東駅、JR 松尾駅の乗車人員の減少
- ✦ 巡回バス、空港シャトルバス拡充要望の増加
- ✦ バス事業者運行路線の乗客数減少に伴う、廃線及び便の減少
- ✦ バス運行のない地域での高齢者の移動手段の確保
- ✦ 市域全域での巡回バス運行要望の増加

図表・グラフ等

公共交通網の満足度

用語解説

◆バス事業者運行路線：市内で運行する6系統のバス路線です。

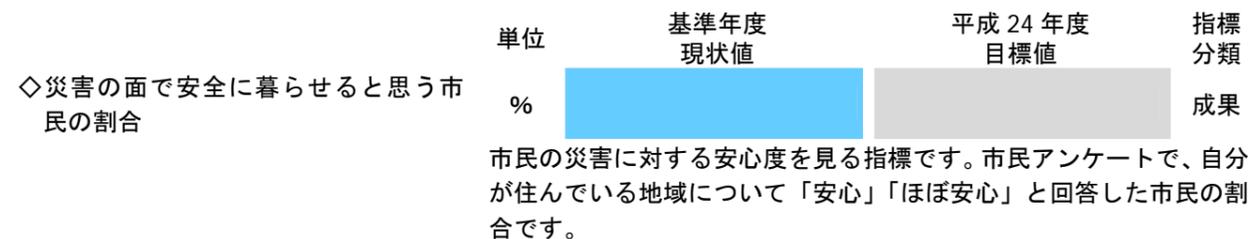
(八街線、横芝蓮沼線、海岸線【循環】、海岸線【作田経由】
フラワーライナー、シーサイドライナー)

施策 1 - ③ 防災・消防対策の充実

施策のねらい

市民の防災意識が高まり、地域の防災力が向上し、災害の被害が抑えられます。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 1-3-① 防災体制の整備	●関係機関が連携し、災害発生時に迅速な災害復旧活動ができる体制が整備されます。	◆自主防災組織数 ◆災害協定件数 ◆保存食の備蓄量
基本事業 1-3-② 消防力の充実	●消防団員及び常備消防職員の確保により、効率的な消防活動が実施され消防力が向上します。	◆消防団員の充足率 ◆消防団員の出勤率（火災） ◆消防団員の平均年齢 ◆常備消防職員の充足率
基本事業 1-3-③ 防災意識の向上	●市民の災害に対する意識が高まり、災害に対する備えができます。	◆災害について、何らかの備えをしている世帯の割合
基本事業 1-3-④ 治山・治水対策の促進	●風水害による浸水などの被害が抑えられます。	◆日降水量 100mmクラスの風水害における床上・床下浸水家屋数 ◆治山治水対策整備箇所数

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 高齢化の進展による災害弱者の増加
- ⊕ 合併による消防団 4 支団制の採用と早期統一（一本化）への動き
- ⊕ 市民の相互扶助意識の低下
- ⊕ 自分たちの地域を自分たちで守るという意識の低下
- ⊕ 地域の交流・隣近所付き合いの減少
- ⊕ 消防団員のサラリーマン化、高齢化などによる体制の弱体化及び新入団員数の激減
- ⊕ 財源などの問題により風水害、土砂災害危険箇所の整備困難化の傾向
- ⊕ 合併による防災行政無線の早期統合化

図表・グラフ等

「災害への備え」の市民アンケート結果

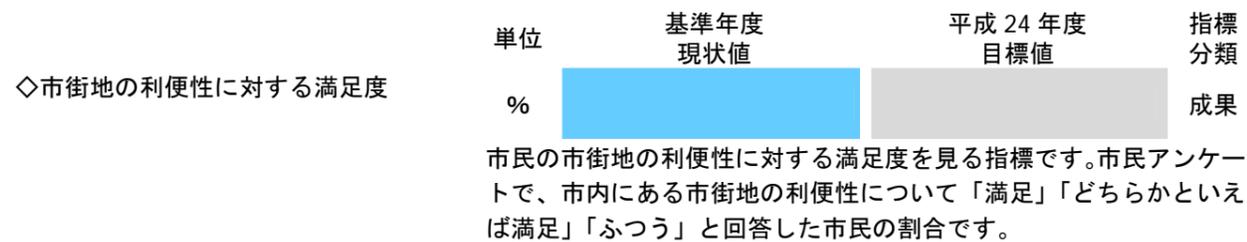
- 用語解説
- ◆ 自主防災組織：いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織です。
 - ◆ 災害協定：大規模災害時の応急対策活動に関して、緊急物資や人的支援の協力体制を確立するため、他自治体や公共的団体、民間と協定を取り交わすことです。
 - ◆ 常備消防職員：24 時間体制で、消防、救急業務に従事する専門の職員です。

施策 1 - **4** 都市の整備

施策のねらい

地域性を活かした機能的な土地利用がされて利便性が向上します。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名

基本事業 1 - 4 - ①
市街地の整備

基本事業 1 - 4 - ②
駅周辺の利便性の向上

基本事業のねらい

●都市としての機能や利便性が整い人々が集います。

●駅の利便性向上をめざし、市街地整備のあり方と駅の活用についての方針を策定します。

基本事業の成果指標
(基本事業の目的達成度を示す指標)

◆市全人口に対する既成市街地の人口の割合

◆駅の利便性に対する満足度

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 中心市街地の空洞化による商店等の減少
- ⊕ まちづくり 3 法の動向変化
(都市計画法改正、大店法の運用見直し、中心市街地活性化法の制定)
- ⊕ 景観法の制定
- ⊕ 財源等の問題により進まない社会資本整備

図表・グラフ等

市街地の利便性の満足度

